

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多治見市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 1日		～ 令和 6年 10月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	146	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	令和 6年 10月 1日		～ 令和 6年 10月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 12月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長く積み重ねてきた発達支援の実績があり、具体的な支援・時期ごとに必要な支援と必要な情報について提供できる	日々の記録において項目が意識できるようにし、支援計画の作成ではそれを活用している	職員勉強会やケース検討会議で職員が共有する
2	長い歴史の中で精査された活動を、活動分析を行いながら狙いを具体的に、個々に合わせた支援を提供している 専門職を配置しており、総合的にお子さんの捉え、支援ができています	職員が互いの活動により刺激を受けつつ、研修会の機会を活用して新しい知識を得、日々の支援に役立てている	職員一人一人の更なるスキルアップと、情報交換ができる機会を保障すること
3	積み重ねてきた関係機関との連携を維持しつつ、市内の他事業所とも連携を行っている	指定管理者である多治見市と重層的に関わっている 事業所として、保健センター・幼稚園・保育園・支援児担当課・教育委員会・多治見市の相談支援事業所や福祉事業所等 社会福祉法人として、福祉課や福祉関係機関との会議に出席している	定期的な情報交流・会議への出席だけでなく、随時情報交流をし支援に反映させる 他事業所への訪問など積極的にを行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々なマニュアルの周知	職員が多く、朝礼や夕礼・回覧を活用してはいるが、多く必要とされている各種マニュアルの周知ができていない	職員会議の機会や、実際にマニュアルを活用した訓練を行うことで周知に努める
2	通所児の数に比べて、部屋数が少なく、活動が限定されがち	通所児の増加が当初想定されていた児童発達支援事業センターの規模より多い	コンパクトな施設でも今までと同じような支援ができるよう、場所や時間のシェアを行う
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多治見市児童発達支援センター

公表日 令和6年12月13日

利用児童数 126

回収数 43 (回収率34%)

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	1	1		親の荷物を置くスペースがもう少し大きくなるとありがたい。床に置くと子どもが触ってしまう プールがない	療育スペースの確保のために荷物棚は設置できないが、部屋の外に置くなどの対応をする。 水遊びができるように対応する
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	41		1	1	適切以上だと思う	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	3				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42				落ちていた小さなゴミを食べてしまう機会が何回かあった。窓のさっしの誇りを子どもが触ってしまう	定期的な清掃を行います
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	42	1			レポートリーが少なく感じる	発達に合わせて療育の設定を行っています。ご相談ください
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	1		7	支援プログラムを見たことがないので分からない	今後、HPや子ども支援課で公表します
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39	1		3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	3		2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	26	2	6	9	市役所内ほかほか広場に通っている	
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41			2		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	41	1		1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	42	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	9	2	11		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39			3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	5	1	9		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	7	2	11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	5	1	20		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	3		6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	5		11		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	40	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	37	5				
	29	事業所の支援に満足していますか。	41	1			ピンクファイルを毎回書いているが、その内容についての反応がない場合、必要性はあるのか？ 先生がとても親身で相談にものっていただけ、わかばを選んでよかったと心から思っている	口頭でお返ししています。 口頭で伝えきれない場合に活用いただいています。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	多治見市児童発達支援センター					公表日	令和 6 年 12 月 13 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点						
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	3	個別でアプローチするときには壁に面して机を配置している	荷物を入れるロッカーが必要だと思う ホールが広すぎて関係が作りにくい 療育で使用していない部屋の使い方 ゆとりをもった部屋の広さがあるとよい パーティションで活用し部屋数を確保しているが、空間的に圧迫感がある					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	19	1	職員の配置状況に合わせて活動を変えている	職員の欠席で変更がある以外にも子供の様子によって変えていく視点で工夫していけるとよい					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	2	職員の目が行き届かない場所は入れない約束がしてあり、全体にも周知されている。	ガラス張りで集中しにくさがある（視覚転写見られている不安） 視覚的にわかりやすい環境づくりがさらにできるとよい					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	1	毎日清掃を行っている 机は摂食用、机上活動用に分別してある	遊びの部屋の音が響くので聞き取りにくさがある					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	2	相談して対応されている 部屋が開いている際は可能である	部屋数や通園児のタイミングによって対応難る部屋がない場合がある 同時刻に療育をしていると難しい パーティションで活用し部屋数を確保しているが、空間的に圧迫感がある					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19	1	日々のカンファレンスなどで情報共有を含め行っている						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		行事などでは、感想や意見を用紙に記入してもらい集計・回覧することで周知、改善に繋げている						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19		チームリーダーが意見を聞き、把握している	機会は設けられているが、意見が交流しにくく、前年によってしまうこともあるため、今後も適宜多すぎない人数で交流したり、意見が出せる場があるとよいと思う 改善までは難しい					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20		事業所連絡会議などで、外部の方に来訪してもらう機会を設けている 職員間で周知している						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20		外部研修・園内研・職員勉強会と開催されておりありがたい 外部研修に参加し学んだことを回覧などで報告する機会がある	職員全体で集まることは難しいが、そういった時間が増えるとうい					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	1							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20								
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20								
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20		事前、事後カンファレンスの中で確認している						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20								
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	1	現在、業務を通して学んでいる最中である						

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	1	主の指導員が行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20			支援内容は年数に関わらず、今後もできる範囲で療育に児発の先生に入ってもらいアドバイスをもらいたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20		毎回カンファレンスを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20		毎回カンファレンスを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20		変化してきたことを特記している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	20			支援担当にも報告してもらえるとありがたい
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	1		主治医ともう少し話せると良い
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20		園訪問を行い情報共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			サポートブックや支援シートを活用している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	17		定期的に会議を行っている	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	17		施設内研修を定期的におこなっている 順番に外部研修に参加している	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	2	わからない	今後、地域の祭りに参加できるとよい
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	6	今後予定している？ 保育園や子育て支援センターなどで絵本を民 たりするなど改善できそう 季節の良い時期に予定している	園で保護者と一緒に遊ぶ機会ができるとよい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19		必要に応じて、別日に話せる時間を作っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	3	11月開始予定 様々なご家庭向け勉強会が開催されている 今後、ペアトレが始まる予定		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20		必要に応じて療育時間とは別に個別面談を組んでいる	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18	2		人数が多くなり、交流の場を設けることが難しい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	19	1	わかばだよりを発行している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18	2	これまでのような形で開催したらどうかと思う 内覧会を行ったり、行事の計画はある 施設を公開している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	4		防犯マニュアルの策定が必要
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20		定期的に避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	20			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20		給食では対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	1		